



歴史博物館 今月のIPPIN

2月

問合先
歴史博物館

☎ 83-3000

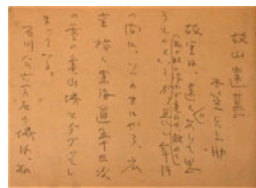


5万点を超える収蔵資料の中から、学芸員おすすめのIPPINをご紹介します。

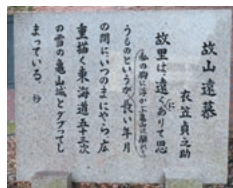
今回ご紹介するのは、20世紀を代表する映画監督の衣笠貞之助が、故郷亀山への想いを綴った詩「故山遠慕」の原稿と顕彰碑です。歴史博物館では、脚本や原稿、写真など、衣笠貞之助に関する1,000点以上のコレクションを所蔵しています。

衣笠貞之助(1896～1982)は、本名を小亀貞之助といい、明治29(1896)年に現在の亀山市本町の煙草屋を営む小亀家に生まれました。18歳で新派の役者となり、大正9(1920)年には「妹の死」で映画監督となります。以降、約120本もの映画を制作し、中でも「狂った一頁」、「十字路」、「地獄門」の評価は高く、昭和29(1954)年には「地獄門」でカンヌ国際映画祭グランプリとアカデミー外国語映画賞を受賞しました。

京都に自宅を構え、東京や海外を行き来しながら映画を撮り続けた衣笠貞之助。「故山遠慕」には、遠く離れた故郷亀山の景色を思い出そうにも、歌川広重の浮世絵を思い浮かべてしまう心境が綴られています。歴史博物館の屋外にはこの原稿を刻んだ顕彰碑が建っており、休館中もご覧いただけます。



衣笠貞之助自筆「故山遠慕原稿」
(館蔵、昭和時代)



「衣笠貞之助顕彰碑」
(歴史博物館屋外展示)



「衣笠貞之助写真」
(館蔵、昭和41年、
モスクワにて撮影)

令和7年10月1日から令和9年3月31日まで休館していますが、**寄贈、寄託のご相談は受け付けています。**
詳しくは、歴史博物館へご連絡ください。



伊賀市・甲賀市・亀山市 3市連携イベント開催 鉄道で行く！いこかの酒蔵探訪 参加者募集

伊賀市、甲賀市、亀山市では、「いこか」広域連携の取り組みとして、市民間の交流を図ることを目的に、3市連携イベントを実施しています。鉄道を乗り継ぎ、沿線に位置する歴史ある2つの酒蔵を巡ります。春の訪れを感じながら地酒の魅力に触れてみませんか。参加者特典として、オリジナルお猪口をプレゼント！

- と き** 3月14日(土)午前9時10分～午後3時40分頃(受付:午前8時30分～) ※雨天決行
- 集合場所** JR佐那具駅
- コース** JR佐那具駅～森喜酒造～JR佐那具駅～近江鉄道水口城南駅～みなくるプラザ(昼食)～美富久酒造～近江鉄道水口城南駅(解散)
- 費用** 1,000円(酒蔵見学料) ※鉄道運賃(片道大人690円)は自己負担
※名物「いこか弁当」(1,200円)希望者は参加予約時にお申し込みください。
- 定員** 40人(先着順)
- 申込** 2月9日(月)午前9時～27日(金)午後4時まで
に申込フォームまたは電話でお申し込みください。
○運転者と20歳未満の人は試飲できません。
- 注意事項** ○酒造りに影響するため、当日は納豆、キムチ、ヨーグルトなどの強い菌類を含む食品は摂取しないでください。
○香水や香りの強い化粧品などの使用は、ご遠慮ください。
- 問合先** 伊賀市公共交通課 ☎0595-22-9663



申込フォーム



森喜酒造



美富久酒造

「いこか」の問合先

◎伊賀市広聴広報課 ☎0595-22-9636 ◎甲賀市秘書広報課 ☎0748-69-2101 ◎亀山市広報秘書課広報グループ ☎0595-84-5021